

【概要】

生命活動は生体成分の化学的機能により保持・継続されており、その現象を理解するうえで生体分子の化学的な知識が必要不可欠である。生化学、代謝生化学、分子細胞生物学での知識を基礎に、医薬品の標的となる生体分子の化学構造、官能基の反応性、分子間相互作用などについて理解することを目的とする。また医薬品の作用発現や代謝に関して、有機化学の視点から理解することを目的とする。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。